



学長
荒井 貴史

尾道市立大学は、瀬戸内の十字路として交通の要衝である尾道市に立地して、これまで地域と共に発展して、特長・特色ある教育を実践して参りました。それは、先人達が努力して築いてきた尾道という地域での高等教育機関としての歴史と伝統を基盤としております。本学は、最高学府として社会からの負託に応えつつ、本学の理念である「知と美」の探究と創造によりさらに学問領域を発展させるとともに、その成果を学生教育に展開して次世代に伝達しております。また、公開講座等により地域社会にも還元しております。

本学は、経済情報学部経済情報学科、芸術文化学部日本文学科、芸術文化学部美術学科の2学部3学科と大学院の経済情報研究科、日本文学研究科、美術研究科の3研究科からなる規模としては小さな公立大学ですが、中国・四国地域を中心としながら、全国各地から本学で学びたい(尾道で学びたい)学生が集まっております。そうした意欲ある学生たちは、各教育課程で学修者本位の教育を通して専門分野の所定単位数を修得することで、学問の研鑽を積んでいきます。そして、本学のディプロマ・ポリシー(DP)で示している以下の3つの学修成果を達成して、企業や地域から求められる有為な人材として社会に羽ばたいていきます。

(知識・技能)

DP1: 幅広い教養と専門的知識・技能を修得し、それらを総合的に活用することができる。

(思考力・判断力・表現力)

DP2: 専門的知識・技能を活用した思考を通して、課題の発見や解決、表現の探究に取り組むことができる。

(主体性)

DP3: 豊かな人間性と幅広い視野をもち、主体的に問題解決や社会における実践に取り組むことができる。

優秀な学生を社会に多く送り出すことは、公立大学である本学のミッションであることは言うまでもありません。さらに、尾道の地域で学んだ卒業生・修了生が、それを国際社会や地域での活動で「強み」に出来るように、すなわち「尾道での学びを誇れる大学」となるように努力しております。そして、地域の皆様、関係諸機関の皆様のご協力とご支援を賜りながら、公立大学として本来のミッションを遂行するとともに、「地域と共に育つ大学」でありたいと思います。



副学長
有吉 勇介

変化する社会で活躍する力を育む学びの場へ

本学は、変化の激しい現代社会で活躍できる人材を育成する大学です。地球環境問題や人口減少、AIによる急速な社会変化など、私たちが直面する課題には「まだ正解が見つからない問い」や「正解のない問い」が数多くあります。企業活動においても、市場に受け入れられる商品を予測することは困難です。これからの時代に求められるのは、自ら問いを立て、他者と協働しながら創造的に解決策を見つけ出す力です。

高校までは、答えのある問題を速く正確に解く力が重視されてきました。しかし大学では、「なぜそうなるのか」「他の考え方はないか」と自ら問いを立て、議論し、試行錯誤を重ねながら答えを導き出す姿勢が大切になります。この経験こそが、社会で必要な課題解決力の基礎となります。

本学では、主に下級生の間は各分野の基礎をしっかりと学び、上級生になってからは少人数ゼミで専門を深めます。自分の関心に基づいてテーマを設定し、調査・分析を経て卒業論文や卒業作品にまとめます。その過程で、実社会の課題と向き合う実践的な学びを行います。異なる専門をもつ教員から直接学び、多様な仲間と議論することで、新しい発想と深い思考力が身につきます。

大学での学びは、知識を蓄積するだけでなく「深く考える力」を育てることにあります。受け身ではなく、主体的に学びに向かう皆さんとの出会いを心待ちにしています。本学での学びを通じて、未来を切り拓く確かな力を身につけ、自信をもって社会で活躍してください。



副学長
中村 謙

尾道は瀬戸内の要衝として歴史的に経済発展し、優れた文化を生み出してきました。何と言っても景観は素晴らしく美しい街だと思えます。そんな街にあるコンパクトな大学で何を学びたいと入学されて来たでしょうか。大学ホームページの情報やオープンキャンパス参加により、漠然とイメージを持っている方もいるでしょう。

本学には、地域と連携した授業や活動がたくさんあります。商店街との連携企画や市民講座、街の散策から歴史や文化を学ぶプログラム。また地域企業とのコラボレーションにより活性化を促す地域プレゼンテーション課題など、尾道の魅力を活かした学びの機会が豊富です。このような学びは地域理解を深め実践的なスキルを磨き、将来のキャリアに大きく役立てることができるでしょう。

また、本学はアットホームな雰囲気があるため教員と学生間の距離も近く、細かく丁寧な指導が受けられます。教員同志の連携も良好で、時には他コースや他学科の先生のアドバイスを受けることもできます。

そんな本学の環境を生かして積極的に様々な活動に取り組んでもらえれば、後に振り返った時にはきっと貴重な経験になると思います。仲間と学業の上では切磋琢磨し、またそれ以外でも盛んに交流を持ちながら、楽しく有意義な学生生活を送っていただきたいと願っています。

<教育：培う尾道市立大学>

尾道市立大学は、専門分野における確かな知識と能力、そして豊かな教養と広い視野をもち、地域社会および国際社会に貢献し得る人材を育成します。このため、本学の特色である少人数教育の利点を生かしつつ、「教学半」(教うるは学ぶの半ば)の精神のもと、教員と学生が人間の触れ合いのなかで共に学び、「知と美」に対する強い好奇心と探究心、しっかりした基礎学力と高い専門能力、そして豊かな人間性を培う教育を実践します。

<研究：拓く尾道市立大学>

尾道市立大学は、実り豊かな教育には不断の研究とそれによって培われた基盤が必要であるとの考え方にもとづいて、新しい「知と美」の地平を切り拓く独創的な研究を目指します。

このため、すべての構成員が対等の立場で相互に協調し啓発し合い、異分野間の協働および外部組織との連携を積極的に進めながら、「知と美」の創造へ向けた学術研究を実践します。

<社会貢献：活かす尾道市立大学>

尾道市立大学は、教育と研究を通して培い拓いた「知と美」の成果を絶えず外部に発信することによって、それらが社会に活かされることを目指し、社会からの信頼と期待に応えていきます。

このため、地域社会との連携を図りつつ、世界的視野をもって教育研究に取り組み、有為な人材を社会に送り出すとともに独創的な研究成果を国内外に向けて発信します。また、国際交流や留学生教育などにより、大学の国際化を積極的に推進します。

入学者の受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

教育の理念・目的と求める学生像

尾道市立大学の教育は、専門の学芸と幅広い教養を身につけ、知的能力および豊かな人間性を発揮できる人材を育成すること、また、地域社会との連携・交流を重視し、広く地域に開かれた大学として芸術文化の向上と産業の活性化に貢献できる人材を養成することを目的としています。

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)及び教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けることのできる者として、次のような人の入学を受け入れます。

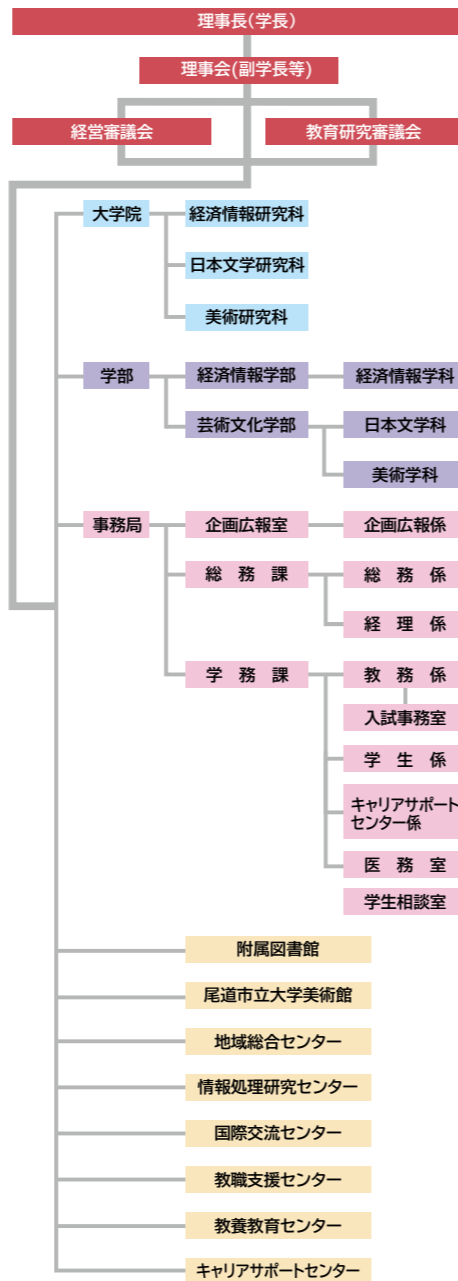
[知識・技能] [思考力・判断力・表現力]

- ・学問や芸術を学ぶことを通じて、豊かな心と幅広い視野を持ちたいと願う人
- ・知と美に対する探究心と創造意欲のある人
- ・専門的知識・技能を身につけ、地域社会や国際社会に貢献したい人

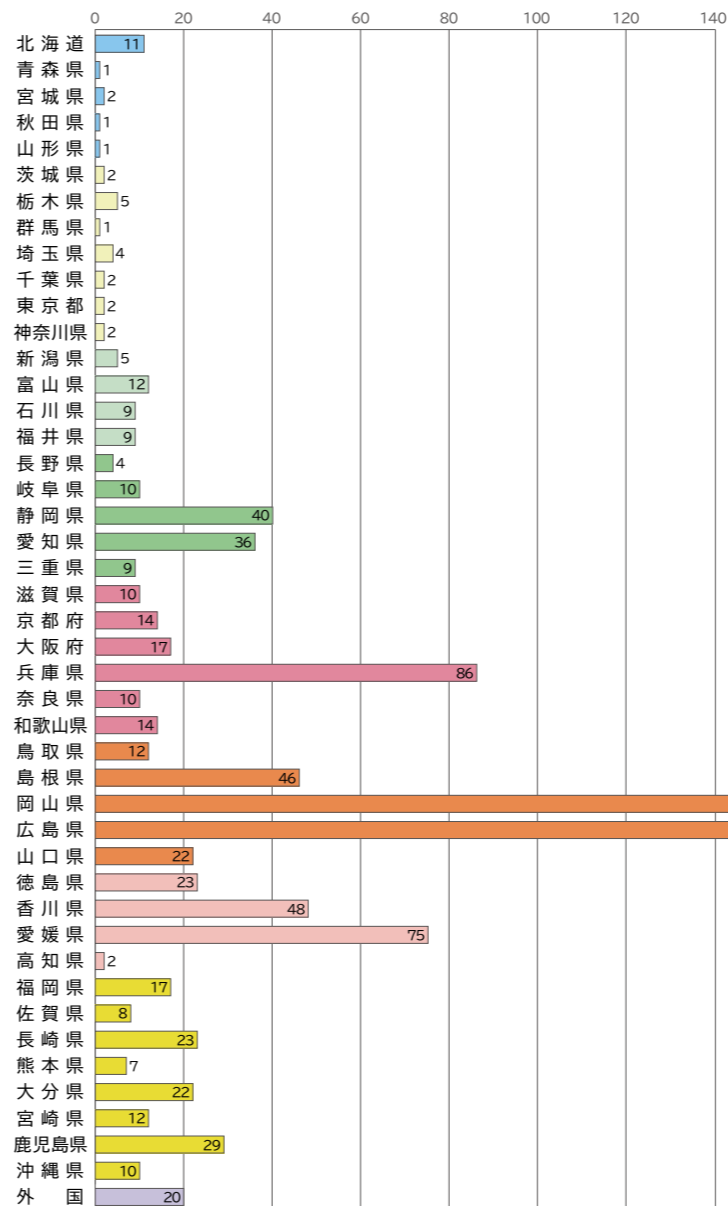
[主体性・多様性・協働性]

- ・何事にも好奇心をもって積極的に挑戦し、自己の目標に向かって不断の努力をする人
- ・主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ人

各学部・学科では、これらに関連する入学前の能力や適性について、それぞれのディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーをふまえ、多面的・総合的に評価し、入学者の選抜を行います。



出身地別在籍者数(学部生) 在籍者数 学部生 1,355人



2026年度尾道市立大学入学試験結果

学部					
●学校推薦型選抜					
学部・学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	
経済情報学部	経済情報学科	70	126	125	70
芸術文化学部	日本文学科	15	43	43	15
	美術学科	12	67	67	12
計		97	236	235	97

●一般選抜 前期日程

学部・学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	
経済情報学部	経済情報学科	100	258	238	136
芸術文化学部	日本文学科	30	100	93	37
	美術学科	23	78	75	24
計		153	436	406	197

●一般選抜 後期日程

学部・学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	
経済情報学部	経済情報学科 Aコース	15	403	137	49
	経済情報学科 Bコース	15	406	158	42
	合計	30	809	295	91
芸術文化学部	日本文学科	5	124	31	21
	美術学科	15	152	87	22
計		50	1,085	413	134

●私費外国人留学生選抜

学部・学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	
経済情報学部	経済情報学科	若干名	14	6	4
芸術文化学部	日本文学科	若干名	3	0	0
	美術学科	若干名	1	1	0

●第3年次編入学試験

学部・学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	
経済情報学部	経済情報学科	若干名	1	1	1
芸術文化学部	美術学科	若干名	9	9	5

大学院				
研究科・専攻	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
経済情報研究科	8	0	0	0
日本文学研究科	6	2	2	2
美術研究科	12	24	23	14
計	26	26	25	16

Campus Life



キャンパスライフ

有意義な学生生活のための
さまざまな支援制度を備えています。

奨学金制度

日本学生支援機構および尾道市立大学奨学会等の奨学金制度を設けています。また、民間企業や地方公共団体等による奨学金の案内についても、随時お知らせしています。

●日本学生支援機構奨学金

- ・給付奨学金
- ・第一種奨学金(無利子) ・第二種奨学金(有利子)

●尾道市立大学奨学会奨学金

無利子貸与 月額30,000円(若干名)

●尾道市立大学成績優秀学生奨学金

本学における学業成績が特に優秀であると認められた学部生に対して、学修意欲の更なる向上を目的として、年額100,000円を給付する奨学金制度を設けています。

授業料減免制度

経済的理由や風水害等の災害を受けたことなどにより、授業料の納付が困難な学業成績が良好な学生に対する経済的支援として、授業料減免制度があります。また、国の「高等教育の修学支援新制度」も対象です。

チューター制度

指導教員(チューター)を中心に経済情報学科では10人程度、日本文学科・美術学科では5人程度のグループをつくり、同級生や先輩・後輩との絆を深めていく制度です。チューターはグループの学生の相談相手になり、またグループの学生と一緒にレクリエーションを楽しむこともあります。

資格取得支援講座及び資格取得者に対する
奨励金給付制度

公務員受験対策講座、情報技術資格対策講座等の課外講座を開講し、学生の進路支援、就職活動に向けた実力を養成しています。また、独力で資格等を取得した学生に対し、奨励金を給付する制度もあります。

オフィスアワー

学業その他の相談を受けるため、全教員がそれぞれ日時を決めて、研究室で待機しています。

学生相談(カウンセリング)・健康相談

自宅から離れた新しい暮らしや通学環境の変化など日常生活上の悩み、大学での人間関係の悩み、精神面や身体面での心配事などについて、保健師・看護師が常駐する医務室にお気軽に相談に来てください。また、公認心理師/臨床心理士によるカウンセリングを受けることもできます(予約制)。

下宿等について

尾道市内には学生向けのワンルームマンション、アパートや寮があります。また、本学の周辺には食事付きの学生寮もあります。これらはすべて民間経営です。希望者には、アパート等の資料をお渡ししています。

その他

学生または学生で構成する団体が、スポーツ・文化・社会貢献等の各分野の活動において、特にすぐれた成果を挙げた場合、学長からの表彰があります。

経済情報学科3年

田畑 果空音

広島県立因島高等学校 出身

私は将来、地元である尾道に貢献できる仕事に就きたいと考えてきました。しかし、そのためにどのような職業に就くべきか、具体的な方向性までは定まっていませんでした。本学の経済情報学部は、物価変動や企業の戦略、IT技術の活用など、現在の社会で注目されている身近な問題について幅広く学べ、これらの知識や技術を身につけることで、社会の仕組みを多面的に理解し、将来の就職の幅を広げられるという点から、地元で貢献できる力を身につけるため、尾道市立大学の経済情報学部への入学を決めました。

高校では総合学科だったため、商業科目を専門的に学んだわけでもなく、数学も得意ではなかったため、経済情報学部で本当にやっていけるのか不安でした。しかし、入学後は簿記入門や文系出身者向けの数学など、基礎から丁寧に学べる授業があり、安心してスタートを切ることができました。また、苦手なことも友人と教え合いながら勉強していくことで、「苦手だから諦める」ではなく、「興味のあることへ挑戦したい気持ち」を大切にできるようになりました。3年生からは経営コースを重視し、「人生を豊かにするための働き方」をテーマにゼミで勉強していきます。

通学時間が短いことを活かし、早朝と夕方のバイトを掛け持ちしています。学業との両立は大変ですが、時間管理する力や仕事への責任感が身につく、効率的に動く力が鍛えられました。日々の経験が自分の成長につながっていると感じています。



● 尾道市学生議会や総合計画の市民委員として地域の意見づくりに参加しています。さらに、週末に地域のお祭りへ出店したり、子ども食堂のお手伝いに行ったり、中学校の授業サポート、地域イベントのスタッフなど、多様な形で地元に関わることに力を入れています！

● 中学生から始めた卓球を続けると同時に、モルック部や漫画研究部など初めてみる部活動にも参加しています。複数の部活に所属して、今までになかった体験をしたり、部活を通して交友関係が広がっていくことも大学の楽しみだと思います。

※2年次(2025年度)後期の時間割です。

一週間のスケジュール

時間割	月	火	水	木	金
1限		健康スポーツ学	原価計算論		
2限	会計学概論	日本経済論	東洋思想	キャリア形成演習	商法
3限	金融論Ⅱ	経営組織論	財政学Ⅱ	経営情報論	応用英語Ⅱ
4限			マーケティング論		
5限					

私たちが日常で目にする広告やCM、店頭の商品やその並び方。実はそれらは、企業のマーケティング戦略のひとつで、「この商品、ついつい買ってしまおう！」と感じるのも、マーケティングにハマっているからかもしれません。この授業では、実際の企業事例と照らし合わせながら、マーケティングの理論を学んでいきます！

日本文学科3年

山際 涼香

市立札幌旭丘高等学校 出身

私は高校時代、現代文、古典問わずに国語の授業が毎日楽しみだったので、「文学に関する勉強をしたい」と思いました。ただ、どの時代、どのジャンルを勉強したいのかという具体的なことは何もわかりません。数々の大学を調べていく中、本学の大学案内に書かれていた「日本文学科で学べる分野の広さ」に惹かれました。文学、日本語学、創作といった分野の授業。文学の中でも平安時代や明治時代、中国に欧米、日本語学でも古典語や現代語のような幅広い分野を専門とする先生方。ここで様々な世界に触れることで自分の興味のある分野を見つけることができるのではないかと、思い本学を志望しました。

日本文学科の授業は毎回、新しい体験があります。教科書では一部しか読んだことのなかった『源氏物語』や『伊勢物語』を読み解く機会、くずし字の資料を読む授業、友人の地元の方言について話を聞く時間、ひとつひとつが楽しく、この場所ですら体験できない貴重なものです。

3年生から所属するゼミは近世文学ゼミを選択しました。江戸時代の文学は全く知りませんでしたが、授業を受ける中で、もっとこの時代の文学を知りたい!と思うようになりました。これから様々な物語に出会うのが楽しみです。先生のサポートも充実しており、新たな分野にも挑戦できる、そんな環境も本学の魅力です。



一週間のスケジュール

時間割	月	火	水	木	金
1限		民法入門	博物館展示論	日本文学講読Ⅰ(上代)	
2限				博物館情報・メディア論	フランス語Ⅰ
3限	社会思想史			日本歴史概説Ⅰ	近世文学専門演習a
4限	日本語史				
5限			日本文学史Ⅱ(中古)		

※2年次(2025年度)前期の時間割です。

● 授業の間にある空きコマでは図書館で授業の発表資料作りや課題をしています。午後に授業がない日や休日は基本的に飲食店でアルバイトをしており、予定がないときには車で少し遠くの博物館まで行くこともあります。また、キャンパスツアーのような大学の行事に携わらせていただくこともありました。

演習は学生の発表を中心に進んでいきます。この授業では近世(江戸時代)の浮世草子『浮世親仁形気』をくずし字から読み、注釈を付け、登場人物の言動がこの物語においてのどのようなおもしろさを生み出しているのかを考えました。文学の知識だけではなく、江戸の文化や風習についても当時の資料を探してまとめます。考察に使えるような資料を見つけたり、発表内の質疑応答で指摘された視点が自分に無いものであったり、毎回発見の尽きない楽しい授業です。

文学史の授業では各時代の代表的な作品に触れる機会があります。この授業では平安時代の文学作品の概要について学び、実際に作品の一部を読んでいきます。中国文学の影響を受けた表現や、後の時代の作品に与えた影響など、文学作品同士の繋がりを感じられます。

美術学科3年

今東 瑠莉

岡山県立総社南高等学校 出身

私は将来、美術と人をつなげるような仕事に携わりたいと考えています。本学では学芸員資格の取得を目指せることに加え、作品制作に打ち込める環境や設備が整っている点に魅力を感じ、入学しました。1年次には油画、日本画、デザインの3つのコースをすべて体験できるカリキュラムなので、自分の表現の幅を広げるとともに、どのコースが自分に合っているのかを考える重要な機会となり、最終的には油画コースを選択しました。

油画コースのアトリエでの制作では、個性豊かな友人や先輩、後輩から多くの気づきや刺激を得ています。先生方のアドバイスやサポートのもと、自分のやりたい表現に深く、柔軟に向き合うことができます。また、図書館や共同研究室には資料が充実しており、作家研究や制作の参考として役立っています。

平日は講義や制作に集中し、土日はアルバイトをしながら生活しています。大学周辺は自然に囲まれており、制作に行き詰まった際には外で昼食をとったり、大学周辺を散歩したりして気分をリフレッシュしています。静かな環境の中で自分自身と向き合い、制作に集中できる点は大きな魅力だと感じています。

尾道はギャラリーや美術館と地域が密接につながる町であり、坂や海、レトロな町並みなど独特の風景が広がっています。日常の中で多くの発見があり、そうした環境に身を置くことで自分の感覚や視点が磨かれ、制作にも良い影響を与えていると感じています。



学芸員資格の取得を目指している学生が受講する授業です。美術学科で教員免許資格と学芸員資格の取得を目指すことができ、それぞれ必須の授業があります。博物館教育論では、実際に地域の美術館に行ってワークショップの体験ができました。

一週間のスケジュール					
時間割	月	火	水	木	金
1限		健康スポーツ学		キャリア形成入門	
2限		文化社会学	東洋思想	日本文化史	博物館教育論
3限	生涯学習概論				
4限			実習		
5限					

街中にある画家のアトリエ、小林和作旧居で作品展示をする実習をしました。実際に現場で作品を作る体験が印象に残っています。

● サークル活動では演劇部に所属しています。学内での新歓公演や翠郷祭での公演に加えて、学外では信行寺やしまなみ交流館などで公演を行うなど、活発に活動しています。役者はもちろん、音響や舞台美術、広報美術など様々な役割があり、互いに協力しながら日々稽古に励んでいます。

● 休日には駅前の商店街を訪れることが多く、カフェや雑貨店、古本屋を巡っています。商店街の近くには美術館や寺院もあり、レトロな雰囲気の中を歩く時間はとても心地よいです。ぜひ訪れてみてください！

※2年次(2025年度)後期の時間割です。



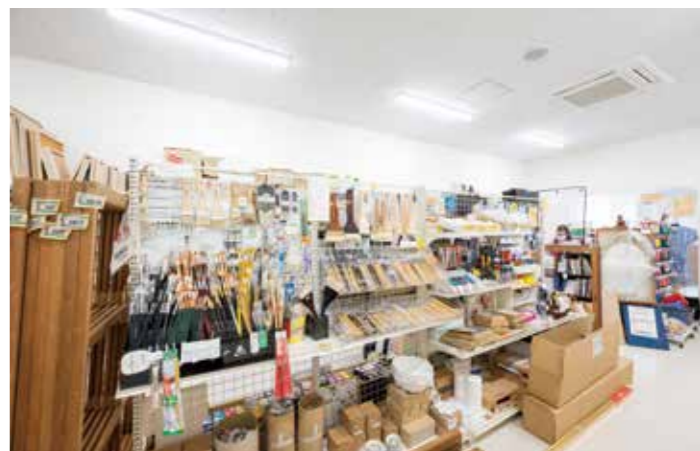
オヤマノカフェ(学生食堂)



ロコモコ丼 タコライス
オヤサイブレード カツカレー



ニューヤマガキデイリーストア



ウエダ画房

尾道市立大学にはさまざまなクラブ、サークルや同好会があり、文化系からスポーツ系まで幅広いジャンルが存在します。



クラブ・サークル、同好会一覧表

●部活動

アウトドア部
硬式テニス部
硬式野球部
サイクリング部

サッカー部
セパタクロール部
ソフトテニス部
卓球部

ダンス部
軟式野球部
バスケットボール部 (男子)
バドミントン部

バレーボール部 (女子)
バレーボール部 (男子)
フットサル部 (男子)
モルック部

●文化系

学生会執行委員会
翠郷祭実行委員会

アカペラ部
裏千家茶道部

演劇部
おのだい教室

軽音楽部
将棋部



●同好会

吹奏楽部
推理小説研究会
陶芸部

アイドル同好会
朝活同好会
eスポーツ同好会
映画同好会
おの100同好会

速水流茶道部
ひかりアート研究会

尾道書道会
OTT 総合格闘技同好会
考えるカラス団 333 同好会
芸術文化研究会
シーズンスポーツ同好会

文芸部
放送部

シグマソサエティ同好会
手芸・裁縫同好会
スイム同好会
スマブラ同好会
天体観測同好会

漫画研究部
ラテン部

ねこ同好会
ハンドボール同好会
ボクシング同好会
ラグビー同好会